

スマイルプロジェクト2021
開催時の感染予防策チェックリスト
【主催者用】

- 主催者は、感染防止のため、主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(イベントの受付場所等)に掲示すること。
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- 障がい者や高齢者など参加者や利用者の特性にも配慮すること。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間(少なくとも1月以上)を定めて保存しておくこと。
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、さいたま市側とあらかじめ検討を行うこと。

＜参加者募集時の対応＞

- マスク等の準備を求めること。
- 参加者がマスクを準備しているか確認すること。
- 受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること。(運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする)

【イベント参加前後の留意事項】

- イベントの前後のミーティングや懇親会等においても三つの密を避けること。
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。

＜主催者が準備すべき事項の対応＞

【手洗い場所】

- 手洗い場には石鹼(ポンプ型が望ましい)を用意すること。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること。
- 参加者に、手洗い後に手を拭くためのタオルの持参を求めること。

【更衣室、休憩・待機スペース】

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。(障がい者の介助を行う場合を除く)
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること。

- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること。
- 換気扇がある場合は常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること。
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをすること。

【トイレ】

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒すること。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。
- 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること。
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をすること。
- 参加者に、手洗い後に手を拭くためのタオルの持参を求めること。

【飲料水の提供時】

- 基本的に参加者には飲料水の持参を求めること。
- 参加者が飲料水を手にする前に、手洗いまたは手指消毒を行うよう声を掛けること。
- 主催者側から飲料水を提供する場合には、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること。
- 飲料水を取り扱うスタッフにはマスクを着用させること。

【見学者の管理】

- 参加者の保護者等の見学者がいる場合には、見学者同士が密な状態とならないよう、必要に応じて、あらかじめ見学席を設けるなどの対応をとること。
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること。
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること。

【ゴミの廃棄】

- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること。



チェック日： 令和 年 月 日 (合同練習会実施日)

団体名： 一般社団法人さいたまスポーツコミッション

スマイルプロジェクト2021
開催時の感染予防策チェックリスト
【参加者用】

＜参加者が遵守すべき事項＞

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること。(受付時や着替え時等のサッカーを行っていない際にはマスクを着用すること)
- こまめな手洗いまたは手指消毒を実施すること。
- 他の参加者、運営スタッフ等との距離をできるだけ確保すること。
- イベント中に大きな声で会話等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- イベント終了後2週間以内に、自身及び同居家族や身近な知人が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに主催者へ報告すること。

＜参加者がサッカーを行う際の留意点＞

- サッカーをしていない間は、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること。
- サッカーは強度の高い運動・スポーツであることから、呼吸が激しくなるため、いつも以上に距離を空けるように意識すること。
- タオルの共用はしないこと。
- 休憩時間には必ず石鹸で手洗いまたは手指消毒をすること。
- 水分補給については、指定の場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って、対面を避け、会話は控えめにすること。
- 同じペットボトルや水筒等での回し飲みはしないこと。
- 飲み残しの飲料を含め、自身が持ち込んだ物のゴミは全て持ち帰ること。

以上の注意点を守って、楽しくサッカーに取り組みましょう！

当日体調が悪くなってしまった場合は、すぐにスタッフやコーチに声を掛けてください。

